



おかだ

仙台市立岡田小学校
学校だより 第5号
令和3年6月23日
TEL：258-1083
FAX：258-2085
児童数 175名

協働型学校評価重点目標

○明るいあいさつと相手の気持ちを考えた言葉遣いができる子供

大好評！学校ホームページ・ブログ更新・公開中

岡田小学校協働型学校評価重点目標への取組について ～学校評議員・学校関係者評価委員会が出されたご意見から～

6月17日に行われた学校評議員会・学校関係者評価委員会において、委員の皆様から学校経営方針や協働型学校評価重点目標への取組、いじめ防止対策等についてご意見をいただきましたので以下のとおりお知らせいたします。今後の教育活動に生かしていきます。

なお、学校経営グランドデザインや学校教育目標、いじめ防止基本方針等につきましては、5月に配布しました学校要覧または学校ホームページをご覧ください。

【委員の皆様からいただいたご意見】

- ・行事を実施できていることが子供たちにとって大きい。中学校にも関わっているが、岡田小卒業生の中1生5名が学級委員になるなど、子供たちも積極性を持って取り組んでいる。先生方のケア、技師の方々の清掃・消毒などによって子供たちが楽しく通えるのだと思う。
- ・子供たちのたてわりの関わりがよい。今遊んでもらった1年生が6年生になったときに自分たちの経験を基に次に伝えていくのだと思う。
- ・職員と児童との関わりが大切で、PTAエンヤコラプロジェクトのような取組に参加することで成長する。いじめ防止の観点からも地域やPTAの関わりが大切である。
- ・いじめの捉え方一つでいじめになったりならなかったりする。いじめと意識をしていなくても、相手にはいじめとなる。言葉にすることで意識づけられるのではないかと思う。
- ・にこにこアンケートの中身がよい。
- ・中学校進学後に子供の携帯電話のトラブルがあると感じている。外部講師を呼んで携帯マナー等の授業や講話等を実施するとよい。
- ・あいさつの意義を考えさせることをどのようにしているのか。あいさつの重要性を、体を使って体感させることに取り組んでいるので、子供たちに伝えていきたい。
- ・読書の時間をもう少し増やすといいのではないか。
- ・平成18年から学校に関わっているが、以前に比べると地域の皆さんの関心が薄れていると感じる。安全面での心配もある。地域の住民も挨拶しないと子供たちもついてこない。一方で、子供たちは横断歩道で止まった車に礼をするようになった。岡田の子の挨拶はすばらしい。
- ・私たち地域の人が声がけすることが大事。
- ・車で送る時にも安全に対する配慮が足りないことが見られる。PTA等、さまざまところで意識することが大事。



→裏面につづく

以上を踏まえ、改めて以下のとおり、学校・家庭・地域の三者協働で目指す児童の姿と改善活動を設定しました。皆様にも意識して取り組んでくださいますようお願いいたします。年度末にそれぞれの取組について振り返りを行う予定です。その際には、取組事例や子供たちの姿、課題等をお寄せいただければと思います。岡田地域を挙げて子供たちを育てていきましょう。

【協働型学校評価における到達目標】

明るくあいさつと相手の気持ちを考えた言葉遣いができる子供

【今年度解決を目指す協働型学校評価の重点目標】

～三者協働で実現を目指す児童の具体的な姿～

- ◎明るくあいさつができる子を90%以上にする。
- ◎場面に応じた相手の気持ちを考えた言葉遣いができる（ちくちく言葉は使わない。ふわふわ言葉を使う。）子を80%以上にする。（昨年70%）

【重点目標具現化のための三者の改善活動】

～学校・家庭・地域の三者それぞれの立場での実現可能な具体的改善活動～

学校	家庭	地域
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生から6年生まで各学年が縦割輪番で、挨拶運動をする。 ・集会活動や委員会活動（放送など）を通して、子供たちに周知していく。 ・学校便りやHPで学校での取組の様子や状況を家庭や地域に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会等で積極的に話題に出して、よりよい児童の姿を共通理解し、実践方法について話し合う。 ・家庭生活においても、他人に接する機会を捉えて、あいさつや言葉遣いの大切さを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時等、児童を見守りながら積極的にあいさつや言葉かけを行い、顔の見える関係を築く。 ・学校行事等の機会に学校に足を運び、児童の取組の様子を見て励ます。

※後日、協働型学校評価重点目標について、各家庭で継続して取り組む目標と内容について、設定していただきます。改めて、お便りでご依頼いたしますので、その際はご家族で話し合ってください。

例) 「ありがとう」「ごめんなさい」を早く伝える

例) 子供が話したいことを聞いてあげられるように
家族で過ごす時間を増やす

